

HITACHI

BSチューナー内蔵日立ワイドテレビ

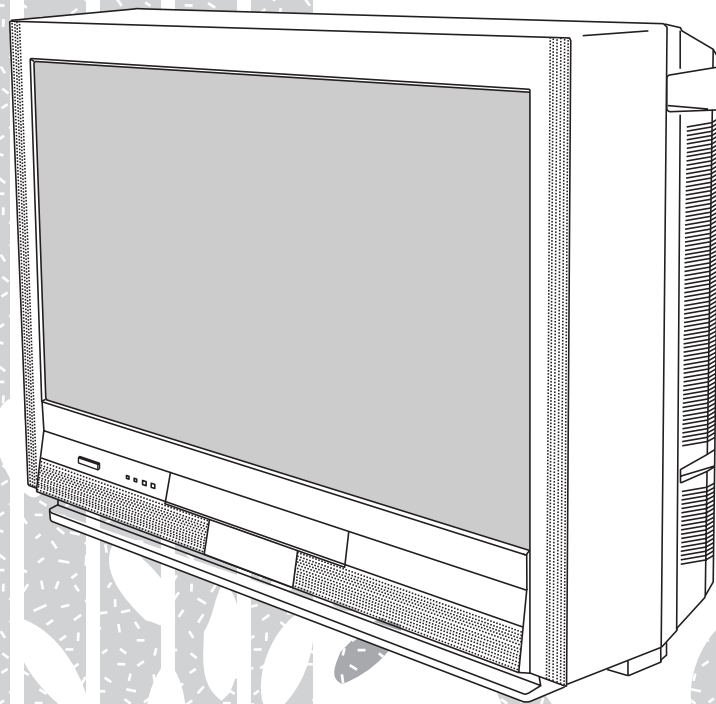
形名

W28-DR2100

W32-DR2100

W36-DR2100

取扱説明書



●W28-DR2100、W32-DR2100、W36-DR2100は外観が異なりますが、取扱いは同じです。詳しくは本仕様をご覧ください。
本文中のイラストは主として、W32-DR2100で説明しています。

このたびは日立ワイドテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に

「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。

お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

FOCUSと●記号は SRS Labs, Inc.の商標です。

FOCUS技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

特 長

地上放送のゴースト妨害を低減

デジタルGR

(ゴーストリダクション) 回路

現行放送をハイビジョンと同じ走査線数で表示
緻密でチラつきの少ない高画質を実現した
アドバンスドプログレッシブ

より自然で迫力のあるリアルな音が楽しめる新技術

FOCUS™ 採用※
by **SRS(●)®**

※ **FOCUS™** by **SRS(●)®** は SRS Labs, Inc. の商標です。

BSデジタルチューナーに簡単接続できる

D端子2系統&

コンポーネント入力

自然な画像を高精細に再現

フラットハイビジョン

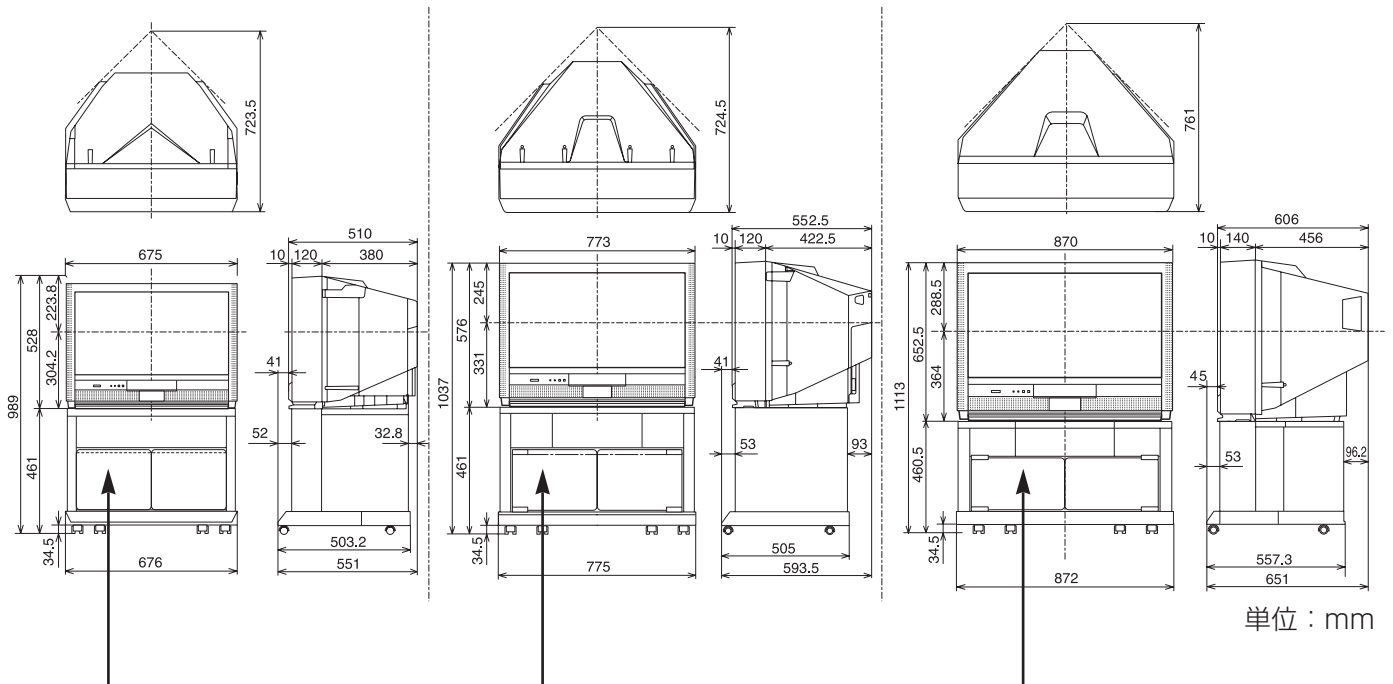
ブラウン管

コンパクトデザインコーナー設置

W28-DR2100

W32-DR2100

W36-DR2100



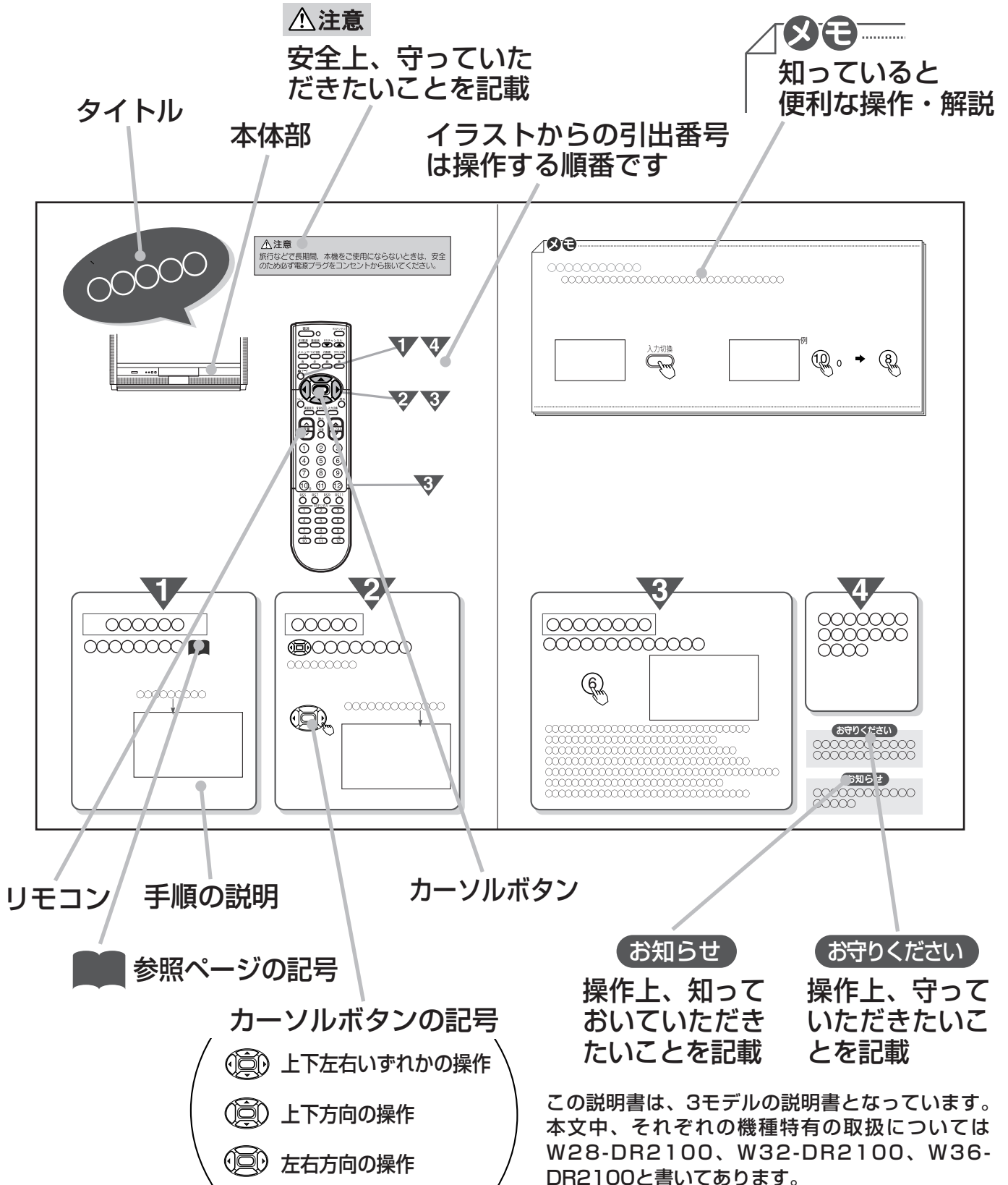
別売りスタンド **TB-28DR**
(セミオープンスタンド)
との組み合わせ

別売りスタンド **TB-32DR**
(セミオープンスタンド)
との組み合わせ

別売りスタンド **TB-36DR**
(セミオープンスタンド)
との組み合わせ

本書の見かた

この説明書は、ほとんどが2ページの見開きで見えるようになっています。(※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。)



もくじ

はじめに

特長	2
本書の見かた	3
使用上のご注意	6
安全上のご注意	6
お守りください	10
お知らせ	11
衛星放送、ワイドクリアビジョン放送について	12
衛星放送のチャンネル	12
WOWOW、セント・ギガについて	12
ハイビジョン放送について	12
ワイドクリアビジョン放送について	12
BSデジタル放送について	12
お使いになる前の準備	13
各部のなまえ	14
リモコン	14
テレビ本体前面	15
テレビ本体後面	17
リモコンの取り扱い	18

基本の使いかた

テレビ放送・衛星放送を見たいとき	20
べんり機能の使いかた	22
べんり機能の項目の選びかた	22
べんり機能で設定できる項目について	23
メニュー機能の使いかた	24
メニュー項目の選びかた	24
ワイド機能を楽しみたいとき	26
ワイドモードの選びかた	26
オートワイドの効果	27
その他のワイドモードについて	28
画面位置を調整したいとき	29

ゴースト妨害を低減したいとき	30
(ゴーストリダクション)	
ゴースト妨害とは	30
ゴーストを低減したいとき	31
音を一時的に消したいとき	32
チャンネル番号などを知りたいとき	33
画面表示	33
ビデオを見たいとき	34
低電力モードに設定するとき	35
音声内容の選びかた	36
二重音声放送のとき	36
ステレオ放送のとき	36
衛星放送の独立音声を聞きたいとき	37
本体で操作したいとき	38

映像・音声の設定

映像の自動調整モードを選びたいとき	40
映像モードの選びかた	40
映像設定をしたいとき	41
明るさ、黒レベルなどの設定	41
さらにお好みの映像設定をしたいとき	42
(ビデオ入力画質、3次元Y/C、ライン補間、 フィルムシアター、黒補正、VM、LTI、CTI)	
音声設定をしたいとき	43
(高音、低音、バランス)	
さらにお好みの音声設定をしたいとき	44
(FOCUS、サラウンド、ステレオミュート、 ミュート音量、ヘッドホン音量)	

多機能の使いかた

マルチ画面を楽しみたいとき	48
マルチ画面モードについて	48
2画面を楽しみたいとき	48
4画面を楽しみたいとき	50
静止画にしたいとき	52
自動的に電源を切りたいとき	53
他の設定を変えたいとき	54
(オートワイド設定、消磁)	

他の外部機器と接続したいとき … 55

接続できる機器	55
外部機器を接続するときに便利な設定	56
コントロール、モニター出力、入力検出、ゲームモードの設定	56
コンポーネントの設定	58
入力スキップの設定	59
BSチューナー内蔵のビデオとの接続	60
BSチューナー内蔵でないビデオとの接続	61
日立的AV-BUS端子付ビデオとの接続	62
日立的AVコントロール端子付ビデオとの接続	62
ビデオカメラとの接続	63
ビデオディスクプレーヤーとの接続	63
画面を見ながらテープ編集をする場合の接続	64
DVDプレーヤーとの接続	65
BSデコーダーとの接続	66
MUSE-NTSCコンバーターとの接続	68
MUSEデコーダーとの接続	69
BSデジタルチューナーとの接続	70
サブウーハーとの接続	73
将来実用化予定のデジタル機器との接続	74
CATVホームターミナルとの接続	75
ゲーム機との接続	76

ビデオで衛星放送を録画するには … 77

見ている衛星放送を録画したいとき	77
衛星放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき	78
1番組のタイマー録画をしたいとき（留守録）	78

日立的AV-BUS端子付ビデオで衛星放送を録画したいとき … 80



アンテナ線の接続 … 82

VHF/UHFアンテナ線の接続	82
VHF/UHFアンテナが混合のとき	82
VHF/UHFどちらか一方のとき	82
VHF/UHFアンテナが独立のとき	82
BSが混合のとき	82
アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続	83
F形接栓(別売り)の接続	83
UHFフィーダーの接続	83
フェライトコアの使いかた	83
きれいな映像を楽しむために	83
アッテネーターについて	84
BSアンテナ線を接続するには	85

受信設定について … 88

チャンネルの合わせかた（地域番号）	88
チャンネルの合わせかた（マニュアル）	96
10キー方式にかえる場合	100
微調する場合	101
ゴースト妨害を低減したいとき（ゴーストリダクション）	102
空きチャンネルを飛び越し選局したいとき	104
デコーダーの入力設定について（オート、BS入力、V2(ビデオ2)、V4(ビデオ4)）	106
受信モードの設定について	108
転倒防止について	109
据え付けるときのご注意	109



メニュー階層図	110
故障かな？と思ったら	111
セット取り扱い上の注意事項	112
お手入れについて	112
保証とアフターサービス(必ずご覧ください)	113
お客様ご相談窓口一覧	114
用語解説	116
索引	118
仕様	裏表紙

使用上のご注意

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。



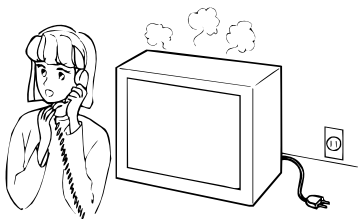
必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意



警告

■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

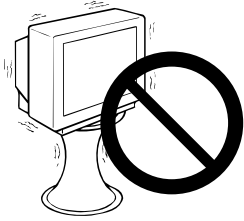
- 煙が出ている、へんな臭いや音がする
- 画が乱れる・映らない、音がでない
- 本機の内部に異物(水、金属など)が入ったなど

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

警告

■ 不安定な場所に置かない



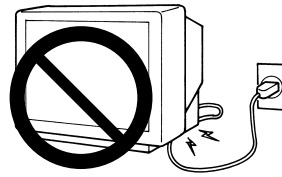
ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、落とさない



破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。
●ブラウン管はガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となることがあります。

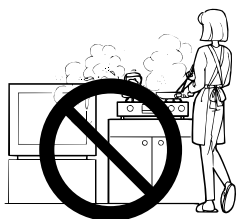
■ 電源コードを本機の下敷にしない



コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

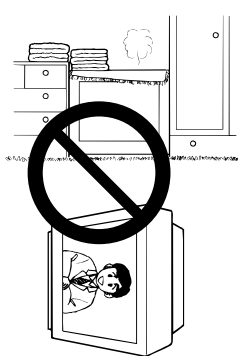
注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない



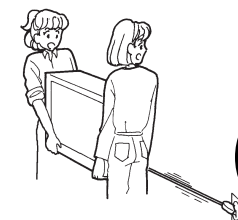
火災・感電の原因となることがあります。
●調理台や加湿器のそばなど

■ 通風孔をふさがない



火災の原因となることがあります。
通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。
特につぎのような使い方はしない。
●本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
●風通しの悪い狭い所に置く。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない



火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように据え付ける



本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ キャスター(車)止めをする



テレビやテレビ台にキャスター(車)がついている場合は、キャスター止めをする。
テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 大形テレビは転倒防止の処置を行う



テレビが倒れると、けがの原因となることがあります。

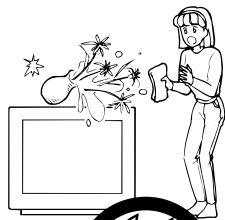
■ アンテナ工事には技術と経験が必要です。販売店にご相談ください



●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
●特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付ける。

警告

■ 本機の上に花びんなどを置かない



水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。

■ 本機に水が入ったり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場やシャワー室で使用しない



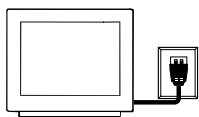
風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 指定の電源電圧で使用する



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



■ 異物を入れない



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。特にお子様にはご注意ください。

■ 裏ぶたやカバーをはずさない、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

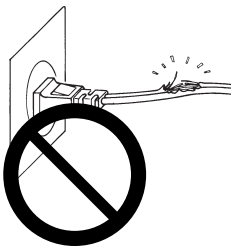
■ 電源プラグの刃や周辺に付着したほこりや金属類を取り除く



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■ 電源コードを傷つけない



火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない



感電の原因となります。

接触禁止

■ 衝撃を与えない



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



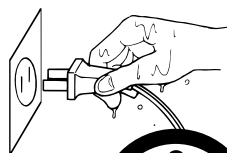
差し込みが不完全ですと発熱したりして火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない



発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

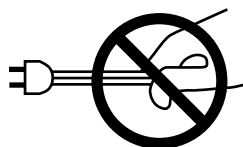


感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない



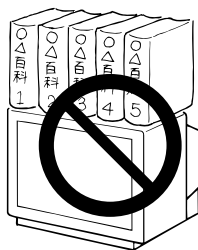
電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしない



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 本機の上に重いものを置かない



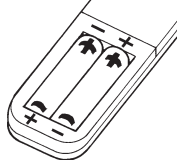
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 間違った電池の使い方をしない



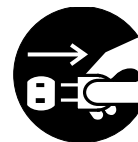
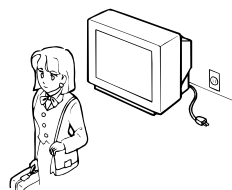
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

特に、次の使い方はしない。



- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きでの電池の使用

■ 長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと

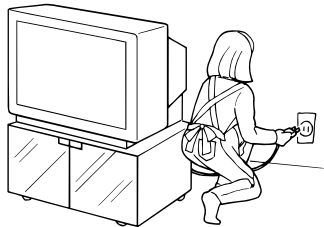
お手入れするとき

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため 電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜くこと



■ 年に一度は内部の掃除を 販売店にご相談ください



本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。



特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに 置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで



暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続してテレビを見ていると 目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

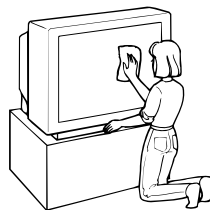
特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用したりして、隣り近所に対し十分な配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ 磁気を近づけないでください

磁気の影響を受けて色が乱れたりすることがあります。

- 磁石、ステレオのスピーカーなど

■ ブラウン管のお手入れについて



ブラウン管の表面はほこりが付きやすいので、時々柔らかい布でふいてください。

また、表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

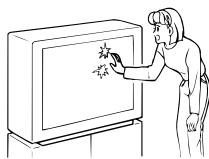
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。

- ・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹼、カーワックス類など

お知らせ

■ブラウン管の静電気

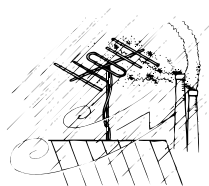


ブラウン管表面に手を触れると弱い電気を感じることがあります。これは、人体に影響はありません。

■ご覧になる位置は

画面のたての長さの5～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすく疲れにくくなります。

■アンテナの点検・交換について



アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

衛星放送、ワイドクリアビジョン放送について

衛星放送は、放送用人工衛星から発したテレビ電波を、地上の小型アンテナで直接受信できるシステムです。
衛星放送を受信するには、BSアンテナが必要です。

衛星放送のチャンネル

現在BSで放送されているチャンネルは次のとおりです。(2001年4月現在)

WOWOW〔日本衛星放送(株)〕、セント・ギガ〔衛星デジタル音楽放送(株)〕は有料です。

BS放送	
BS-5	WOWOW、セント・ギガ
BS-7	NHK衛星第1
BS-9	ハイビジョン試験放送
BS-11	NHK衛星第2

WOWOW、セント・ギガについて

BS-5チャンネル(WOWOW、セント・ギガ)の番組は、受信契約していない方が視聴できないように信号をかく乱(スクランブル化)して放送されています。視聴するには、各々の放送局と受信契約を行ってスクランブルを正常な状態に戻すデコーダー(解読器)を接続する必要があります。すでにWOWOWの受信契約をされている方は、追加料金を支払うだけでセント・ギガが視聴できます。受信契約については、代理店(主に、電器店)に、ご相談ください。有料放送であってもスクランブル化しないで放送されている番組は、デコーダーがなくても視聴できます。

ハイビジョン放送について

ハイビジョンは、高精細度テレビ(High Definition Television)とも呼ばれ、BS-9チャンネルで試験放送されています。別売りのMUSEデコーダー、またはMUSE-NTSCコンバーターを接続することにより、ハイビジョン番組をお楽しみいただけます。

ワイドクリアビジョン放送について

ワイドクリアビジョン放送は、現行放送と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。

●本機はワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行放送かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。27

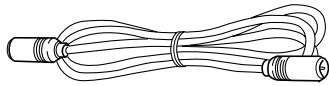
BSデジタル放送について

BS(放送衛星)を利用して、2000年12月より本放送が開始されたデジタル放送です。BSデジタル放送は、高精細度テレビジョン放送(デジタルハイビジョン放送)を中心としたサービス、さらに各種データ放送、デジタル音声および双方向サービスなど多種多様なサービスがあります。BSデジタル放送をお楽しみいただくには、別途BSデジタルチューナーが必要です。

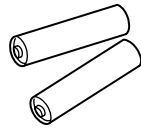
お使いになる 前の準備

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡
ください。

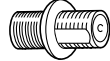
取扱説明書（本書）………1冊



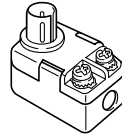
RFケーブル 82



単3形乾電池 18



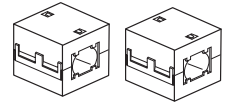
中継接栓 82



リモコン送信機

14

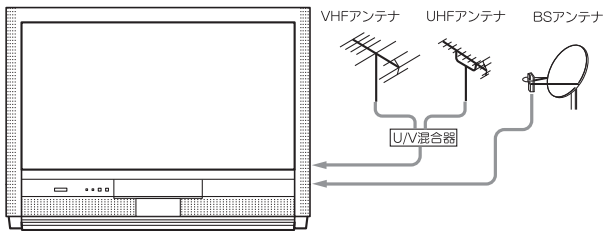
アンテナアダプター 83



フェライトコア 83

1

アンテナ線をつなぐ 82 ~ 87



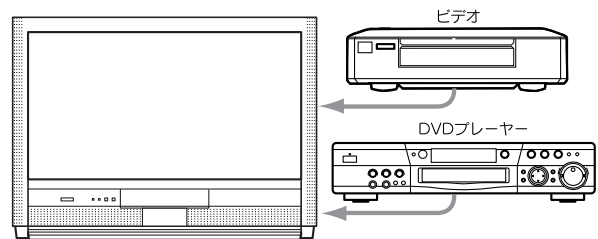
⚠ 注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

2

お手持ちの機器をつなぐ

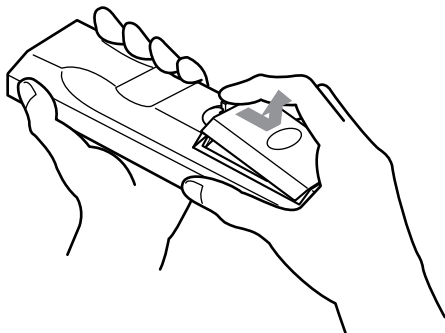
後面部の豊富な端子群をフルにご活用ください。 55 ~ 76



3

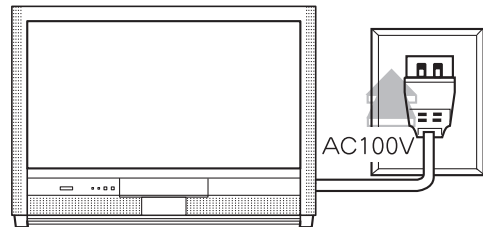
リモコンに乾電池を入れる

付属の単3形乾電池をリモコンに入れます。 18



4

電源プラグをコンセントに差し込む



⚠ 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

リモコン

内の数字は、
参照ページです。

リモコン操作表示ランプ

- ボタンを押すと点滅します
- 電池が消耗すると暗くなります

70 ~ 72 BSデジタル操作ボタン

電源ボタン 20

マルチ画面ボタン 50

メニューボタン 24

音声切換ボタン 36

べんりボタン 22

画面表示ボタン 33

音量ボタン 21

消音ボタン 32

BSチャンネルボタン 20

48 2画面ボタン

23 決定ボタン

22 カーソルボタン

22 戻るボタン

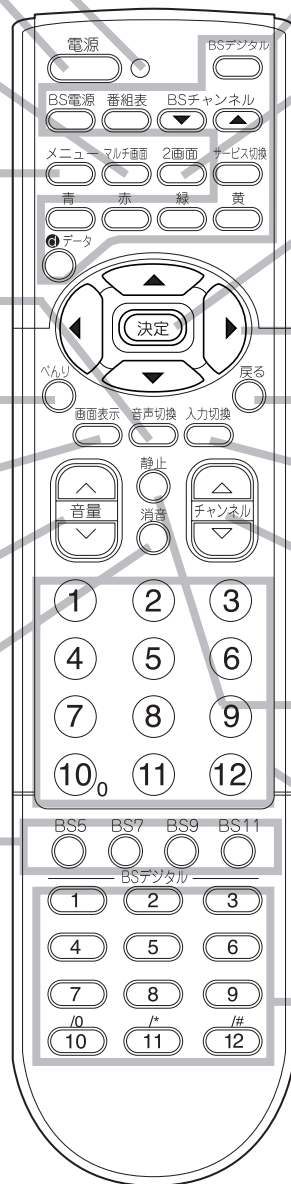
34 入力切換ボタン

20 チャンネルアップダウンボタン

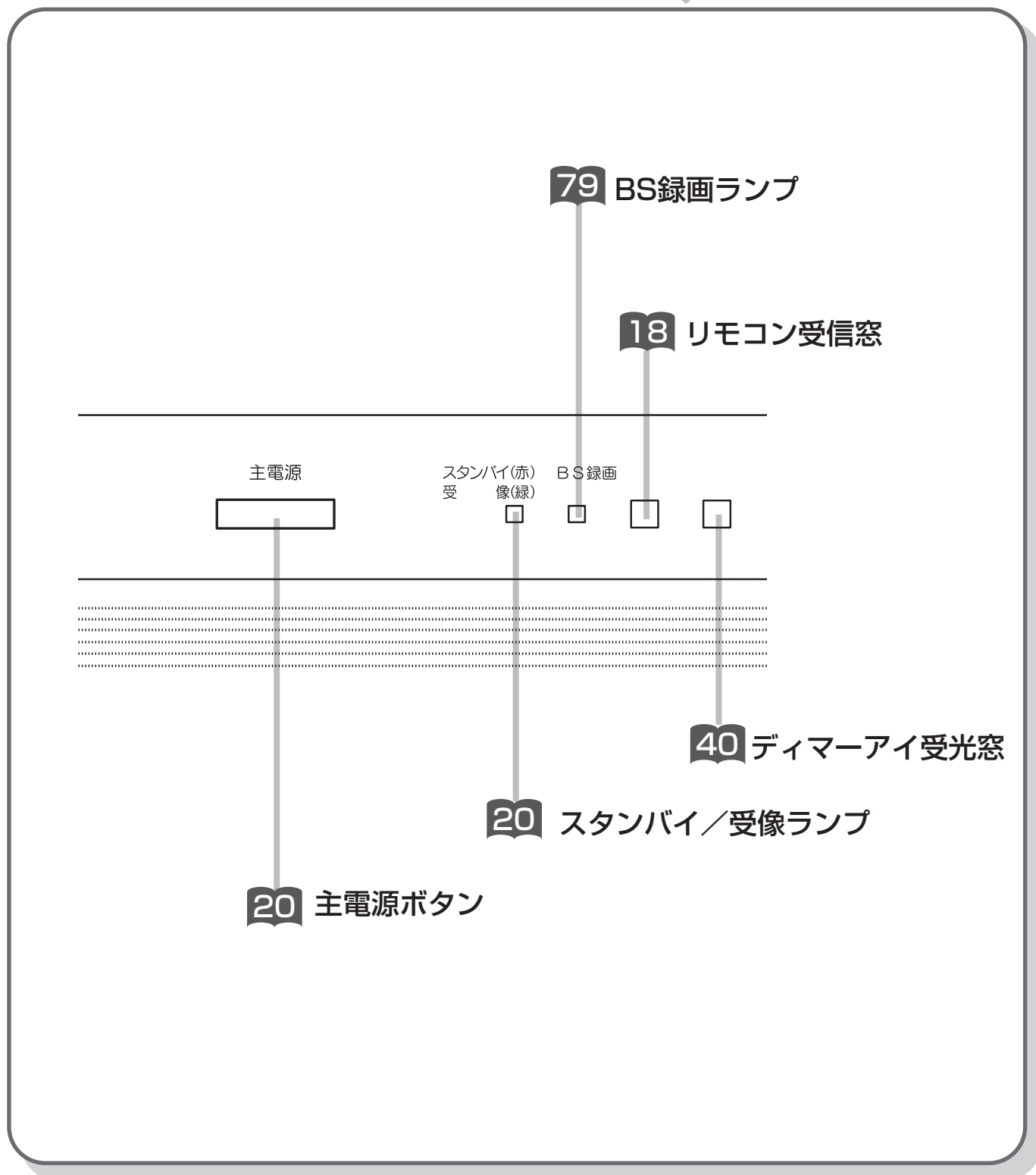
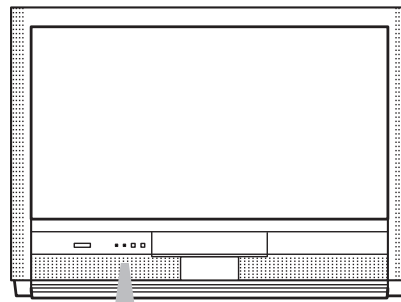
52 静止ボタン

20 チャンネルボタン

70 ~ 72 BSデジタル操作ボタン



テレビ本体 前面

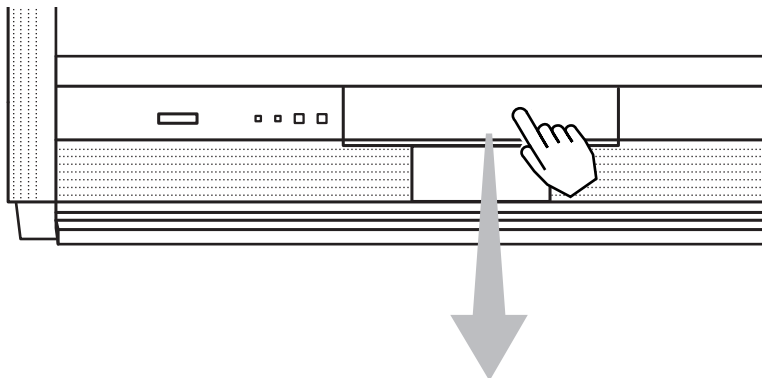


各部のなまえ (つづき)

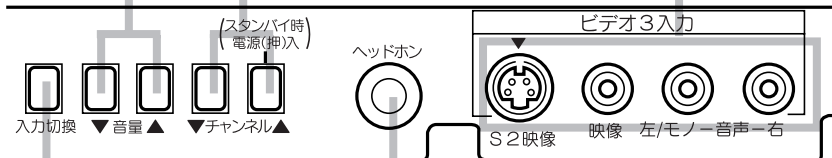
テレビ本体 前面

前面とびらの開けかた

「押—扉開」部を押します。



音量ボタン **38** **38** チャンネルボタン **63,76** ビデオ3入力端子

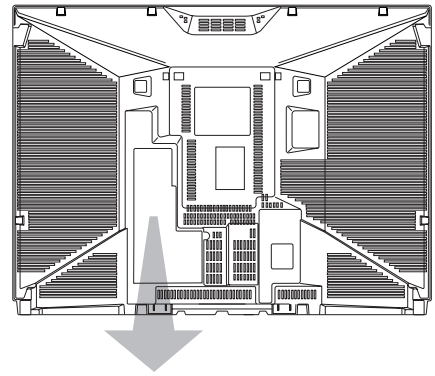


38 入力切換ボタン

ヘッドホン(ミニ)端子

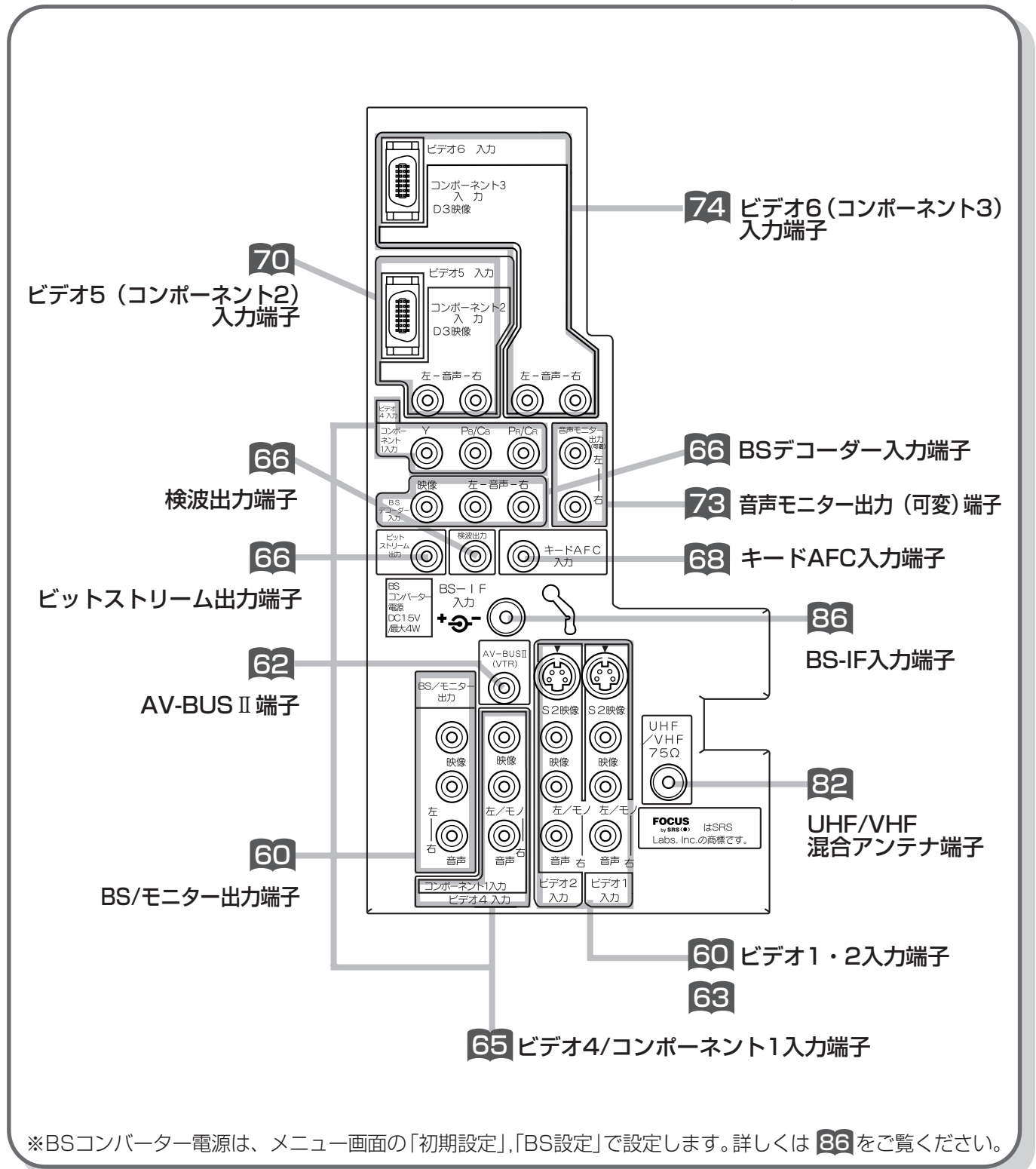
別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。
ヘッドホンの音量を設定することができます。**45**

テレビ本体 後面



はじめに

●各部のなまえ(つづき)
●リモコンの取り扱い(次ページ)



※BSコンバーター電源は、メニュー画面の「初期設定」,「BS設定」で設定します。詳しくは **86** をご覧ください。

将来発売予定機器との接続

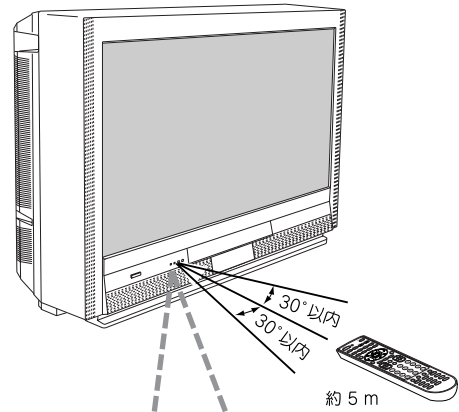
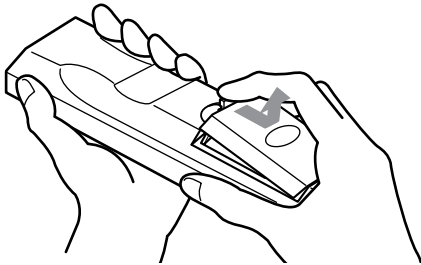
テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されるとと思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの 取り扱い

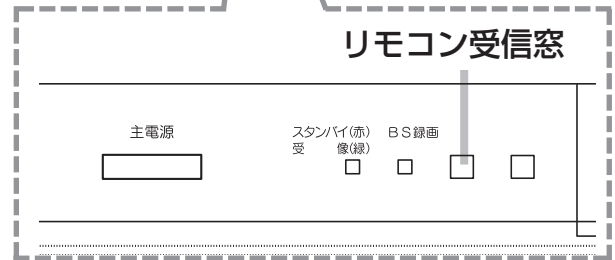
1

電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。



リモコン受信窓

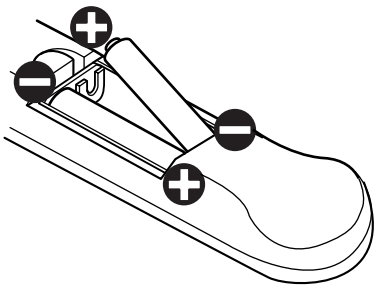


- リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- 本機のリモコンでBSデジタルチューナーを操作するときは、BSデジタルチューナーのリモコン受信窓に向けてボタンを押してください。**70**

2

乾電池を入れる

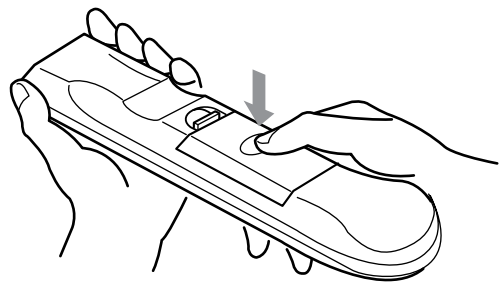
付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。



3

電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



お守りください

リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間で使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

⚠ 注意

乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

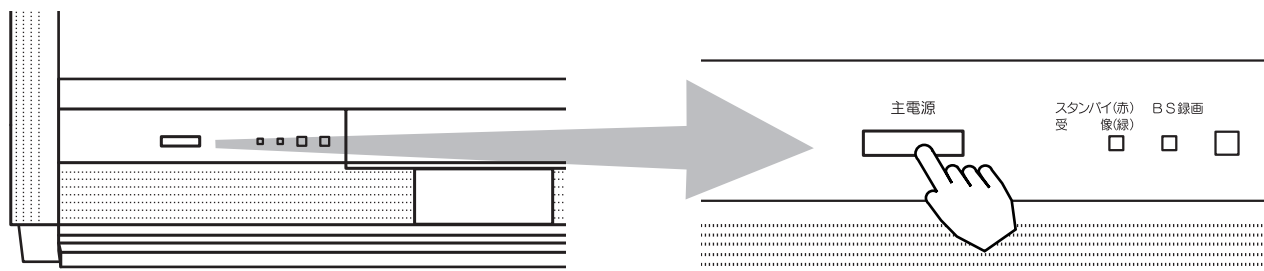
基本の使いかた

テレビ放送・衛星放送を見たいとき	20
べんり機能の使いかた	22
メニュー機能の使いかた	24
ワイド機能を楽しみたいとき	26
ゴースト妨害を低減したいとき	30
音を一時的に消したいとき	32
チャンネル番号などを知りたいとき	33
ビデオを見たいとき	34
低電力モードに設定するとき	35
音声内容の選びかた	36
本体で操作したいとき	38

テレビ放送・衛星放送 を見たいとき

準備（主電源ボタン操作）

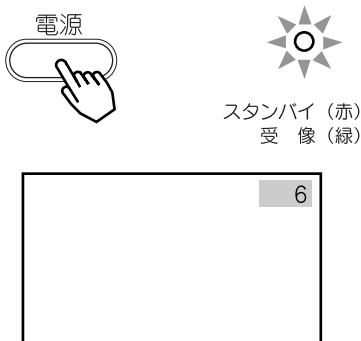
本体のスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まず本体の主電源ボタンを押してください。



1

電源ボタンを押す

本体のスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。



2

チャンネルを選ぶ（1～12, BS5～BS11）

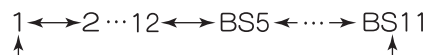
画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示を消すこともできます。 **33**



チャンネルアップダウンボタン  を使ってチャンネルを選ぶこともできます。

ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

（お買い上げ時）



メモ

お買い上げ時のチャンネル設定

●お買い上げ時は、VHF1～12チャンネルの12局とBSチャンネル5,7,9,11の4局が設定されています。

チャンネルの設定を変更することもできます。 **88**、**96**

●空きチャンネルの飛び越し選局 **104** の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

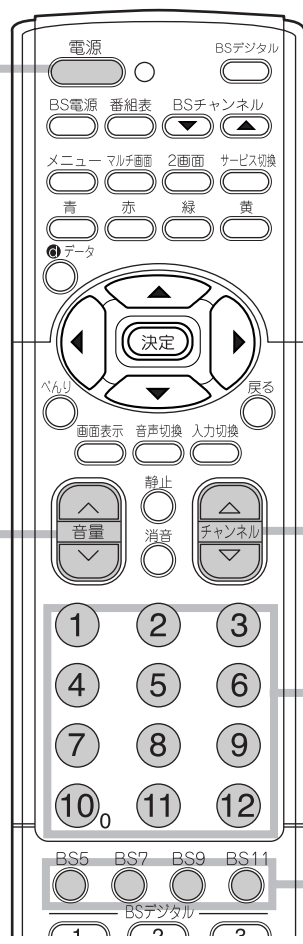
1
電源ボタン

3
音量ボタン

2
チャンネル
アップダウンボタン

2
チャンネルボタン

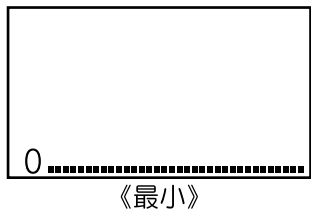
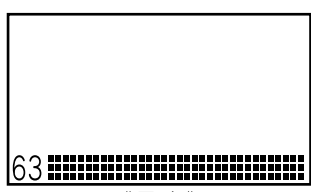
2
BSチャンネル
ボタン



3

音量を調節する

音量の大きさが数字と で画面に表示されます。



メモ

リモコンの操作は
スタンバイ/受像ランプが点灯しているときにのみ、リモコンの操作は可能です。
リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、次回から電源の「入・切」もリモコンでできます。

本体操作で電源を入れるには
スタンバイ/受像ランプが赤く点灯しているときに、本体のチャンネル▲ボタンを押すと電源が入ります。 **38**

お守りください

動作中に停電になったときのご注意

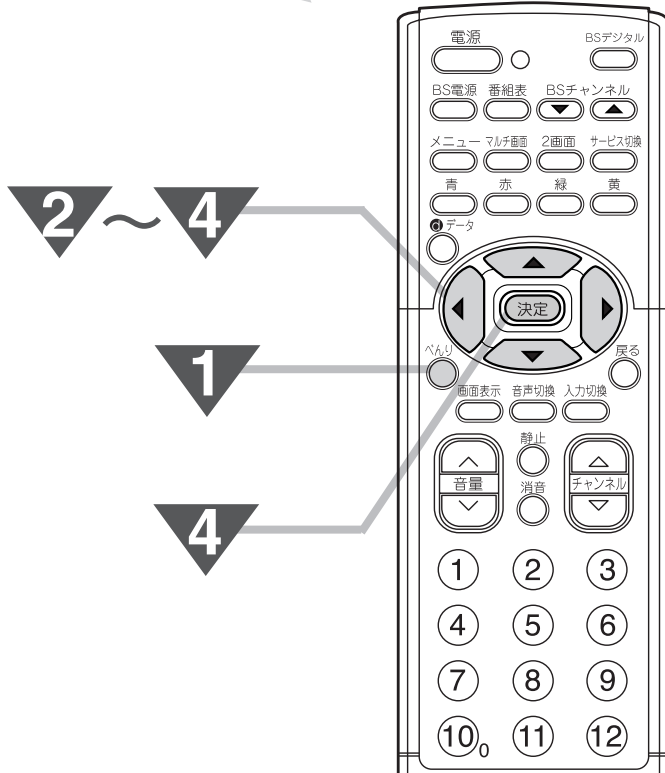
テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは本体の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2画面とマルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。 **48**

べんり機能の 使いかた

べんり機能を使うと見ている画面に応じてお好みの設定にすることができます。
これらの設定項目は上下左右方向に矢印（▲）のついたカーソルボタンを使って機能の設定ができます。



お知らせ

- べんり機能の操作中に、カーソルボタンや決定ボタン、戻るボタンが動作しない場合は、もう一度べんりボタンを押してから再び操作してください。

メモ

リモコンの戻るボタンについて

べんり機能やメニュー **24** の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

べんり機能の項目の選びかた

1

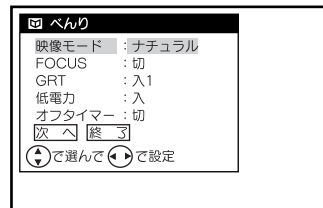
べんりボタンを押す



べんり画面が現れます。
もう一度べんりボタンを押すと、次の設定画面を表示します。
次のページがないときは設定画面が消えます。

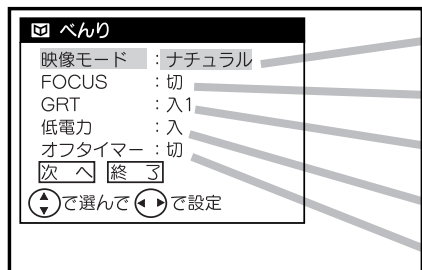
2

で項目を選ぶ



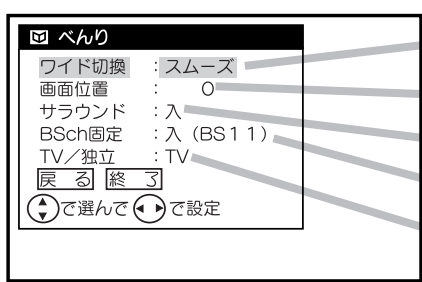
べんり機能で設定できる項目について

■ 通常のテレビ・ビデオ画面（1ページ目）



- 40 映像の自動調整モード（映像モード）を選ぶことができます。メニュー画面の「映像設定」で設定することもできます。41
- 46 音声のFOCUS機能を入/切することができます。
- 30 地上放送のゴースト妨害を低減することができます。メニュー画面の「GRT設定」で設定することもできます。102
- 35 明るさをおさえて消費電力を低減させることができます。
- 53 自動的にテレビの電源を切ることができます。

■ 通常のテレビ・ビデオ画面（2ページ目）



- 26 画面のワイドモードを選ぶことができます。オートワイドを選ぶこともできます。
- 29 画面の位置を上下に移動することができます。
- 46 音声のサラウンドモードを設定することができます。
- 78 衛星放送のチャンネルを固定すると1番組のタイマー録画ができます。
- 37 衛星放送の独立音声を聞くことができます。

3

で設定する

4

設定が終わったら、で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを1～2回押しても、設定画面が消えます。
「次へ」の表示があるときは、「次へ」を選んで決定ボタンを押すと、次のページが表示されます。
「戻る」の表示があるときは、「戻る」を選んで決定ボタンを押すと前のページが表示されます。

メニュー機能の 使いかた

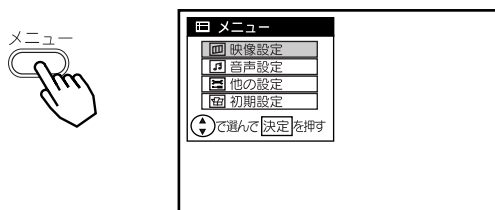
メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。

メニュー項目の選びかた

1

メニューボタンを押す

《メニュー》画面が現れます。



2

で項目を選び、決定ボタンを押す



選んだところが水色になります。



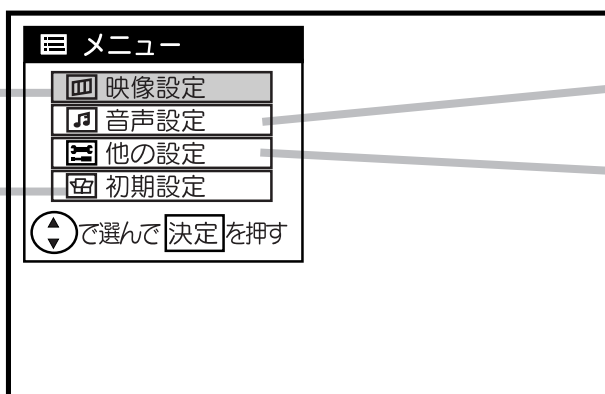
設定画面が現れます。

(画面表示を消すときは、メニューボタンを押します。)

41,42

56,88

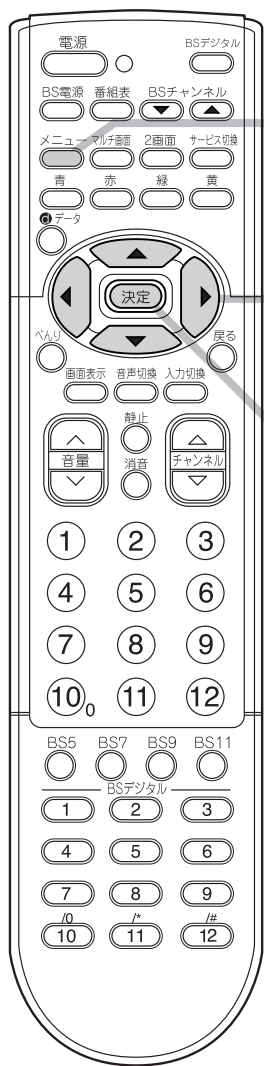
など



43,44

54

内の数字は、
参照ページです。



1
メニューボタン

2~4
カーソルボタン

2 4
決定ボタン

メモ

リモコンの戻るボタンについて
戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。

お知らせ

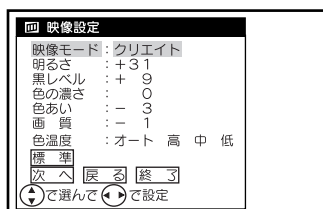
- メニュー機能の操作中に、カーソルボタンや決定ボタン、戻るボタンが動作しない場合は、もう一度メニューボタンを押してから再び操作してください。

3

で設定する

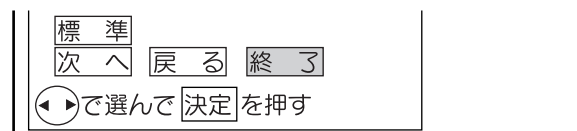
で項目を選んで、 で設定（または選択、調節）します。

〈映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉



4

設定が終わったら、 で「終了」を選び、決定ボタンを押す



「戻る」を選んだときは、ひとつ前の画面に戻ります。



画面表示が消えて、設定が完了します。メニューボタンを2回押しても、画面表示が消えます。

ワイド機能を楽しみたいとき

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。

さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

オートワイド (ジャスピタツワイド)

本機は、見ている映像に合わせて最適なワイドモードを設定する「オートワイド (ジャスピタツワイド)」機能を採用しています。また、お好みに合わせてワイドモードを選ぶこともできます。

ワイドモードの選びかた

1

べんりボタンを2回押す

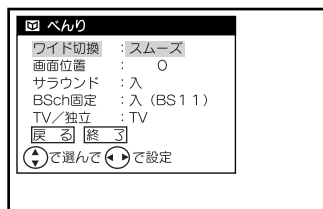
べんり機能の設定画面 (2ページ目) が表示されます。



2回押す

2

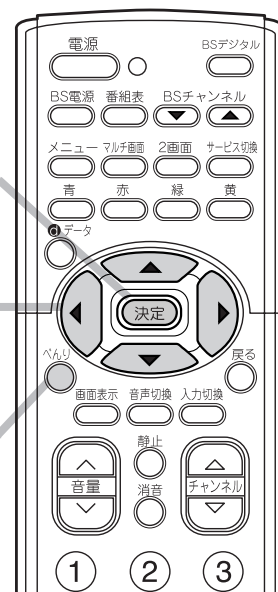
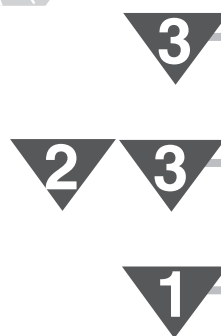
で「ワイド切換」を選び、でワイドモードを設定する



を押すたびにワイドモードは次のようになります。



お買い上げ時は、オート (オートワイド) が設定されています。通常はオートでお使いください。



メモ

オート以外のワイドモードに設定した場合は、電源「入」「切」、チャンネル切換、入力切換を行ったとき、ワイドモードが初期化されます。オートワイド設定 54 で設定されているワイドモード (スムーズまたはノーマル) に戻ります。

3

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを押して表示を消すこともできます。



お知らせ

- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

- ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をオートまたはスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- 本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ1～3のS2映像入力に入力されると自動的にワイド画面一杯に表示します。
- ビデオ4～ビデオ6のコンポーネント入力端子では、1125i（1080i）信号を入力したときはワイド切り換えができません（自動判別）。このときのワイドモードはフルモードになります。

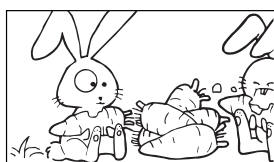
オートワイドの効果

見ている映像が上下に黒い帯の入った横長サイズの映像のとき

横長サイズの映像を画面のサイズ、画面の中心位置を最適にして上下の黒帯を最小になるように表示します。また、字幕などの文字を最適に再生できます。



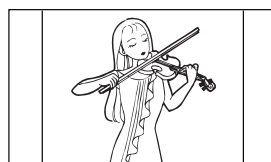
ノーマルモードのとき



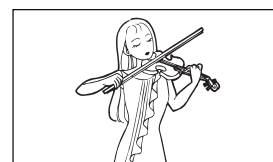
オートワイドが働いたとき

見ている映像が通常の映像のとき

通常の4：3の映像を横方向に不自然にならないように拡大し、垂直方向にも10%拡大してワイド画面一杯に違和感なく表示します。



ノーマルモードのとき



オートワイドが働いたとき

お知らせ

通常の4：3の映像を見ているときにオートワイドが働くと、「他の設定」の「オートワイド設定」が「スムーズ」に設定されている場合は、画面一杯にスムーズサイズで表示します。「オートワイド設定」が「ノーマル」の設定になっている場合は、ノーマルサイズで表示します。**54**

メモ

オートワイドについて

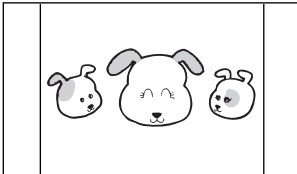
- 映像のサイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。
- 暗い映像の画面などでは、最適なワイドモードにならない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。
- 最適なワイドモードになるまで、映像の内容によって多少時間がかかる場合があります。
- ビデオ4～ビデオ6のコンポーネント入力端子に525p（480p）または1125i（1080i）信号を入力したときは、画面が自動的にフルモードになります。
- ビデオ5およびビデオ6のコンポーネント入力端子にD端子ケーブルで525i（480i）、525p（480p）信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。

ワイドクリアビジョン放送識別について

- ワイドクリアビジョン放送は、現行の放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。
- ワイドクリアビジョン放送識別は「オート」モード時のみ有効です。
- ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときのみ **[ワ]**が表示されます。
- ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画して再生する場合や電波受信状態（ゴースト、弱電界など）によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みのワイドモードに設定してください。

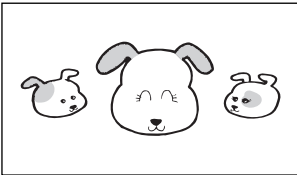
ワイド機能を
楽しみたいとき
(つづき)

その他のワイドモードについて



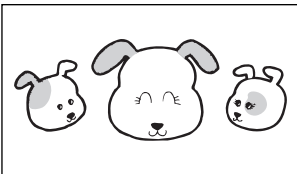
ノーマル (通常の状態)

通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。



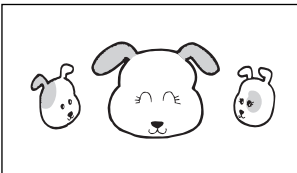
スムーズ

4：3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。



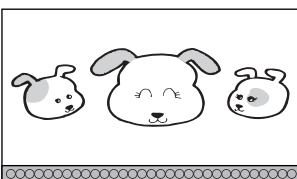
映画1

ピスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。



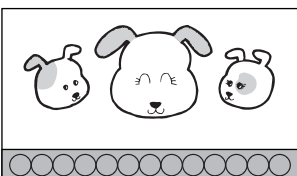
映画2

シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。



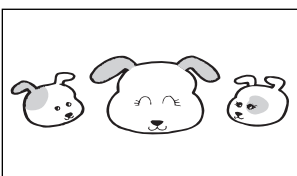
映画1字幕

字幕付のピスタサイズの映像に最適です。



映画2字幕

字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。
(お買い上げ時の画面位置は+10に設定されています。)



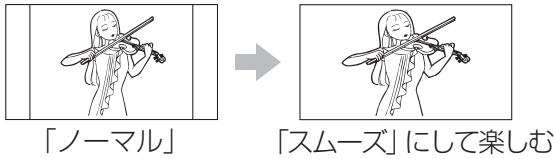
フル

横方向を圧縮して記録された映像 (スクイーズ映像) を横方向に画面一杯まで拡大します。
ハイビジョン番組をビデオに録画し、それを再生して楽しむときなどに使います。

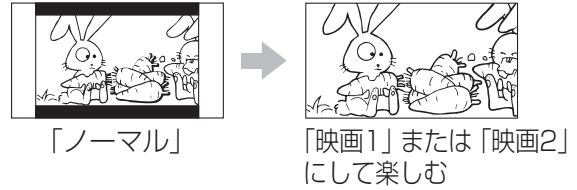
メモ

ワイド機能の上手な使いかた

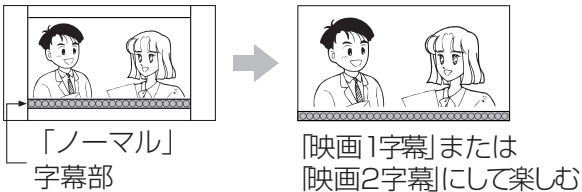
通常のテレビ放送



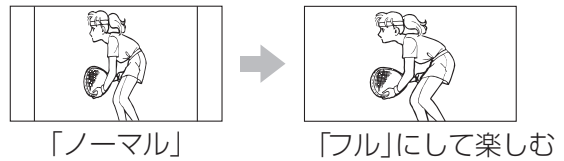
上下に黒帯のある映像



上下に黒帯があり字幕のある映像



スクイーズ映像(横圧縮映像)



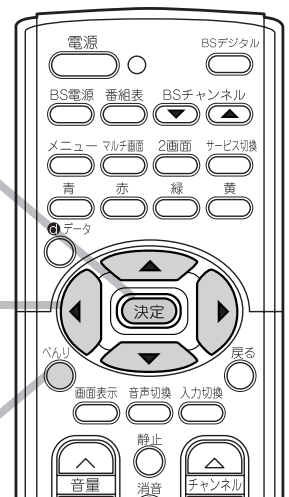
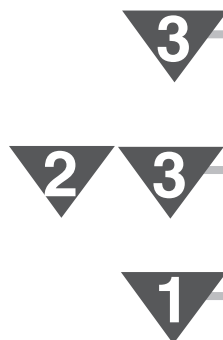
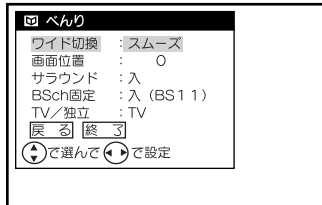
画面位置を調整したいとき

「ノーマル」「フル」以外のワイドモード時は、画面を上下に移動することができます。「映画1」「映画2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。

1

べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面(2ページ目)が表示されます。

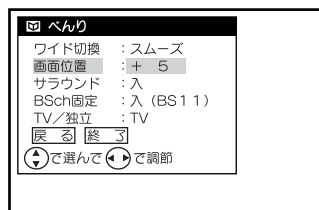


2

で「画面位置」を選び、でお好みの位置に調節する



スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調節ができます。



3

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを押して表示画面を消すこともできます。

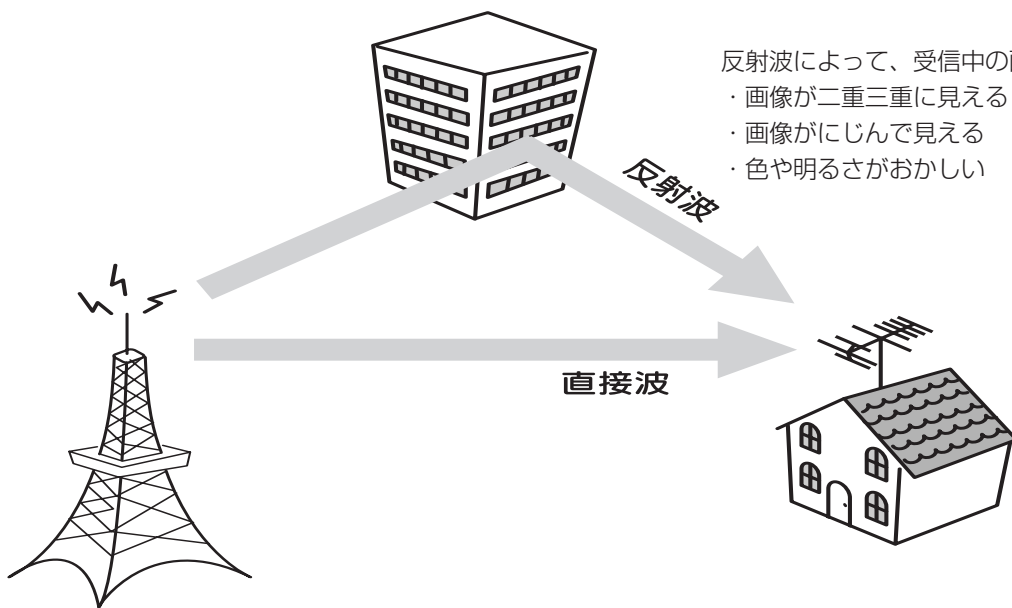


ゴースト妨害を
低減したいとき
(ゴーストリダクション)

本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー (GRT) を搭載しています。地上放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波 (直接波) と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波 (反射波) を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

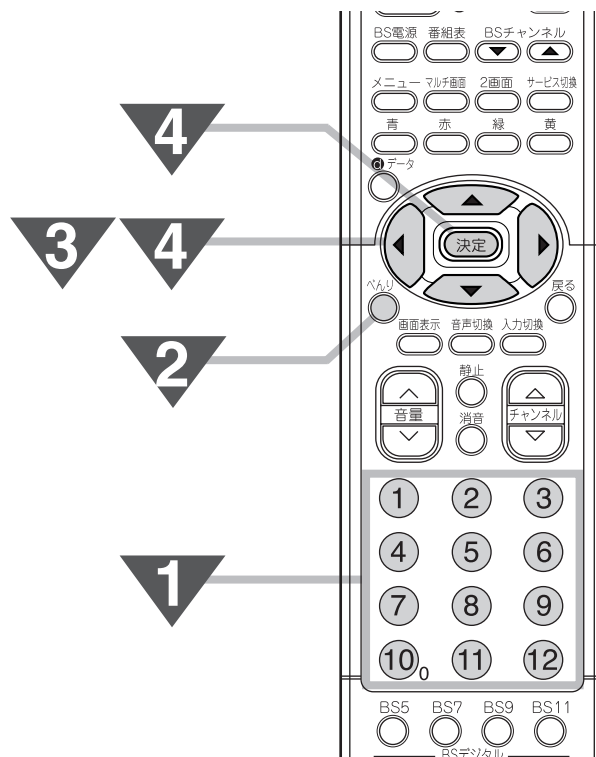


反射波によって、受信中の画像が次のように見えます。

- ・画像が二重三重に見える
- ・画像がにじんで見える
- ・色や明るさがおかしい

お知らせ

- ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号 (GCR信号) に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
- ゴーストリダクションは、地上放送をご覧になっているときに働きます。衛星放送やビデオ入力端子に入力した映像に対しては動きません。
- 地上放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
 - ・受信状態が良くないとき
UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など **82**
 - ・ゴースト妨害が大きいとき
 - ・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
 - ・ゴーストの数が多いとき
- 付属のRFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします (**83** をご覧ください)。よりきれいな信号を受信することができます。



ゴーストを低減したいとき

地上放送をご覧になっているとき、ゴーストが気になるときはGRT設定を行います。

GRT設定は、地上放送の各チャンネルごとに設定することができます。

複数のチャンネルのGRT設定をまとめて行いたいときは、メニュー画面で設定することもできます。 102

1

チャンネルボタンを押す

ゴーストが気になるチャンネルを選びます。



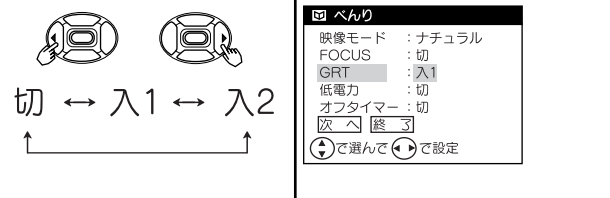
2

べんりボタンを押す



3

で「GRT」を選び、
でお好みに設定する



- 「入1」：通常はこの位置で使います。
お買い上げ時は「入1」が設定されています。
- 「入2」：「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
- 「切」：ゴーストリダクション機能は動きません。
「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

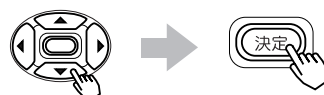
お知らせ

- ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ゴーストの状態によっては、「入1」または「入2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- 衛星放送やビデオ入力端子から入力した画面を見ているときのGRT設定は「—」と表示され設定することができません。
- チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり 88、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する 96と、GRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- マルチ画面や静止画でご覧になっているときは、ゴーストリダクション機能は動きません。
- ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがあります。故障ではありません。
- VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

4

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを2回押して表示画面を消すこともできます。

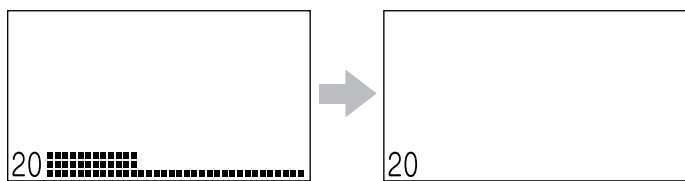


音を一時的に消したいとき

電話がかかってきたとき、来客のときなど便利です。

消音ボタンを押す

音が消えて、画面に図のような表示が出ます。
もう一度押すと元の音量に戻ります。



(表示の色がマゼンタに変わります。)

消音ボタン



メモ

消音時でも小さな音を出しておきたいとき

- 消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。ミュート音量の設定をしてください。 **45**
- 消音にしたままでも音量 ボタンを押すことにより、音量の設定を変えることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量 ボタンを押してください。

チャンネル番号などを 知りたいとき

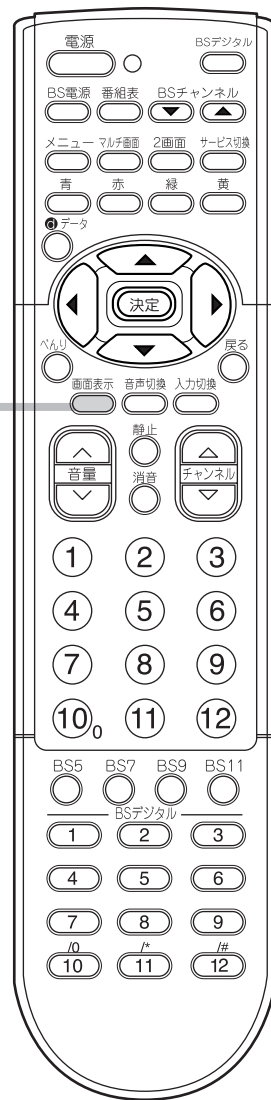
マークについて
このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。**27**

画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示されます。表示を消すときは、もう一度押します。



画面表示ボタン



基本の使いかた

●音を一時的に消したいとき
●チャンネル番号などを知りたいとき

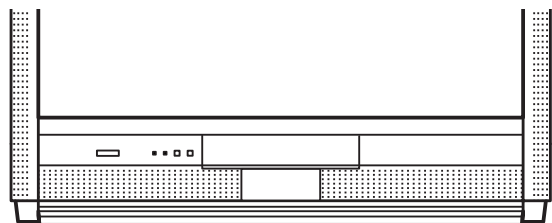
画面表示

●テレビ放送のとき	●衛星放送のとき	●ビデオのとき
4 モノラル放送時 (緑で表示)	BS 11 A TV モノラル放送時 (緑で表示) 例) Aモード、テレビ音声	ビデオ1-ビデオ入力番号 ただしビデオ4~6のコンポーネント 入力時は以下のように表示されます。 ビデオ4 ビデオ5 コンポーネント1 コンポーネント2 ビデオ6 コンポーネント3
4 モノラル指定時 (緑で表示) モノラル	BS 11 B ステレオ放送時 (黄で表示) 例) Bモード	
4 二重音声放送時 (赤で表示) 主 例) 主音声	BS 11 A TV主/副 二重音声放送時 (赤で表示) 例) Aモード、テレビ音声、 主/副音声	
4 ステレオ放送時 (黄で表示)		

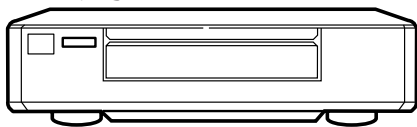
ビデオを見たいとき

準備

お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。接続についての詳しい説明をご参照ください。**60**～**63** 日立製AV-BUS端子付ビデオと組み合わせると、操作が簡単になります。**62**

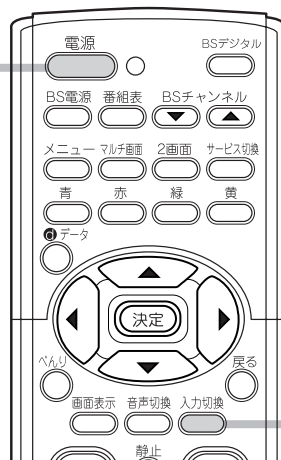


ビデオ



3

1



2

1

電源ボタンを押す

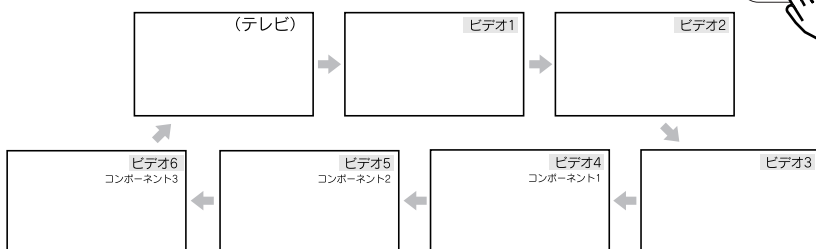
前に見ていたチャンネルが現れます。
(前にビデオを見ていたときは、ビデオ1などのビデオ画面になります。)



2

入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。(お買い上げ時)
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。



3

ビデオを再生する

メモ

ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンを押して「テレビ」にするか、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ4について
ビデオ4入力端子は通常の映像信号とコンポーネント映像信号の兼用端子です。映像を同時に接続したときは、コンポーネント映像信号が優先的に選択されます。コンポーネント映像が入力された場合は「コンポーネント1」の表示がでます。**65**

ビデオ5、6について
ビデオ5、6入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子(D3映像端子)です。BSデジタルチューナーなどのD映像信号を接続できます。D3映像端子に接続すると「コンポーネント2」または「コンポーネント3」の表示がでます。**70**

ビデオ入力のスキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し(スキップ)させることができます。**59**

低電力モードに 設定するとき

明るさをおさえて、消費電力を低減できるモードです。

基本の使いかた

●ビデオを見たいとき
●低電力モードに設定するとき

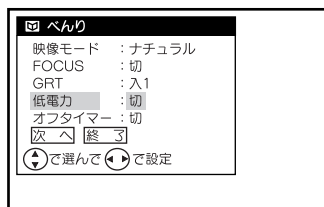
1

べんりボタンを押す



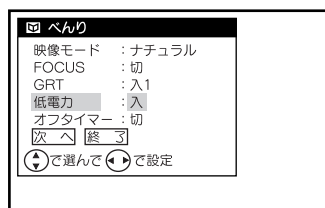
2

で「低電力」を選ぶ



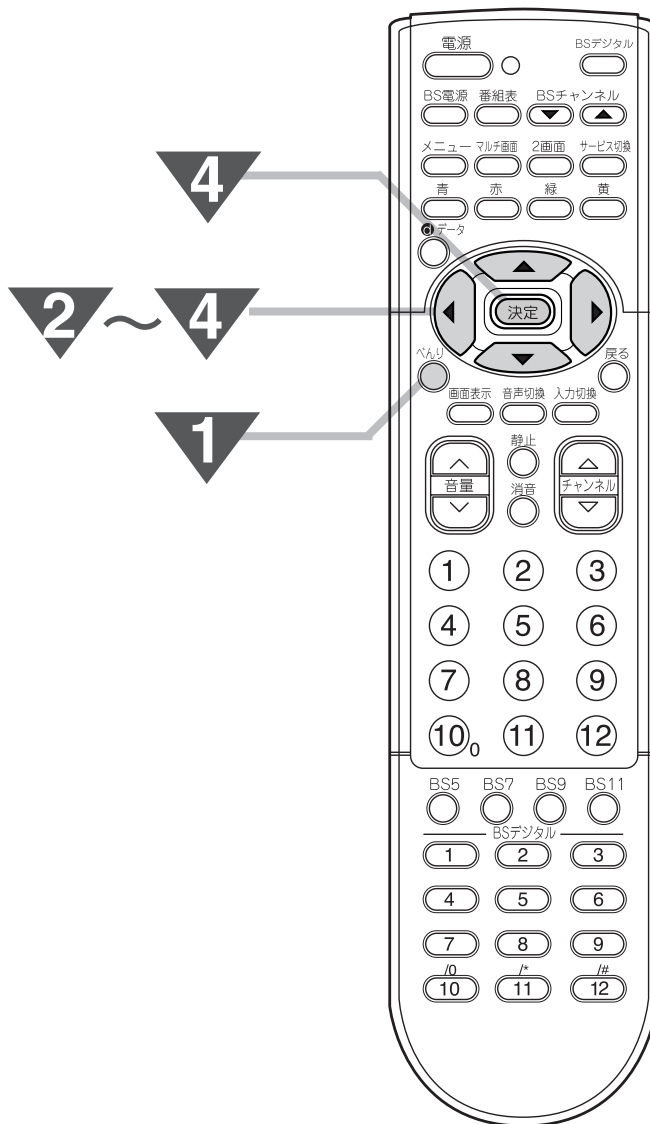
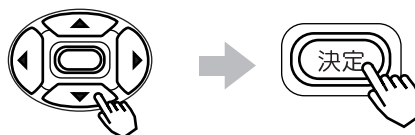
3

で「入」を選ぶ



4

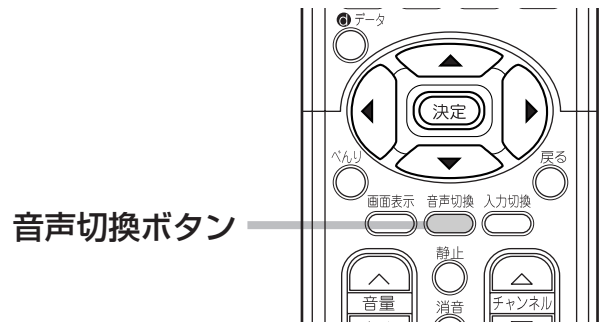
で「終了」を選び、決定ボタンを押す



音声内容の 選びかた

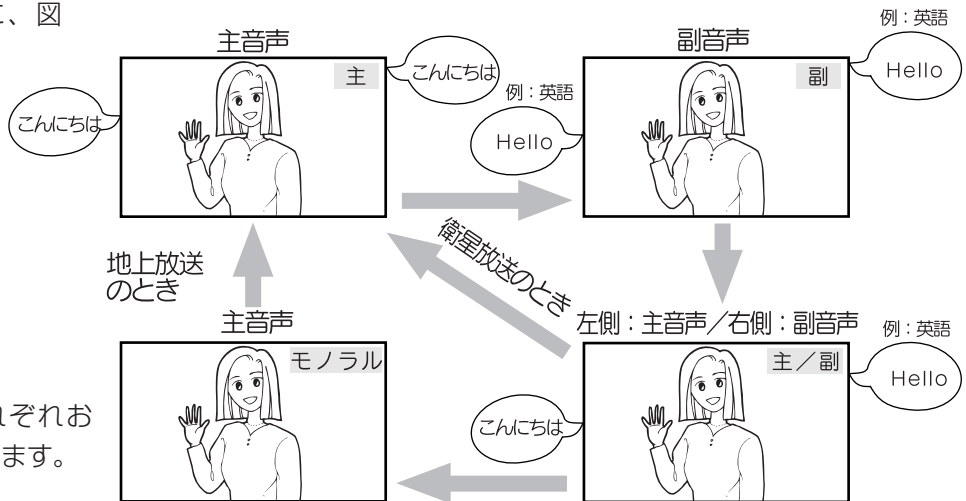
二重音声放送およびステレオ放送のときには、2カ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。

衛星放送で「Aモード」音声のときは、「テレビ音声」「独立音声」を選ぶことができます。



二重音声放送のとき

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

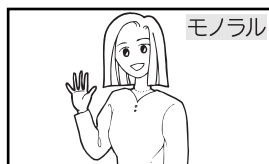


- 地上放送と衛星放送はそれぞれ好みの状態に単独に設定できます。

ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
 (「主」「副」「主/副」のいずれかに設定しているとき)

- 地上放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声聞きづらいときは「モノラル」にすると聞きやすくなる場合があります。



メモ

主音声と副音声について

- 洋画やニュースなどの2カ国語放送のとき、日本語に吹き替えて送られてくる音声を「主音声」、原語のまま送られてくる音声を「副音声」といいます。
- 放送によっては「主音声」を原語で、「副音声」を日本語で送る場合があります。

衛星放送の独立音声を聞きたいとき

衛星放送の音声が入モードのとき、テレビ音声と独立音声を選ぶことができます。

●独立音声放送がないとき…自動的にテレビ音声選ばれます。

1

べんりボタンを2回押す

べんり 2回押す

2

で「TV/独立」を選ぶ

べんり
ワイド切換 : スムーズ
画面位置 : 0
サラウンド : 入
BSch固定 : 切
TV/独立 : TV
戻る
決定

3

で「独立」に設定する

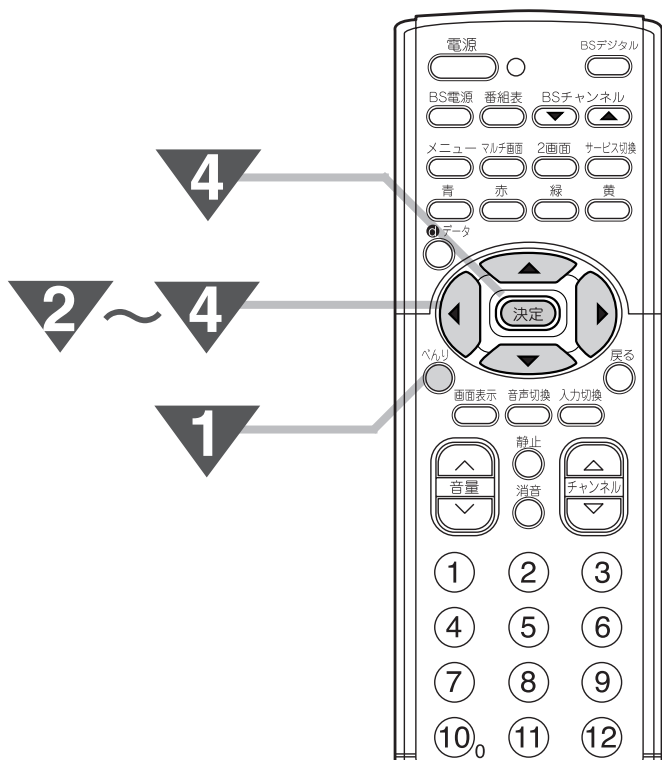
べんり
ワイド切換 : スムーズ
画面位置 : 0
サラウンド : 入
BSch固定 : 切
TV/独立 : 独立
戻る
決定

「TV」を選ぶと映像に合ったテレビ音声が出ます。
「独立」を選ぶと映像とは別の独立音声が出ます。

4

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを押して表示画面を消すこともできます。



基本の使いかた

●音声内容の選びかた
●本体で操作したいとき (次ページ)

メモ

独立音声放送について

BS-5チャンネル、WOWOW(JSB)の独立音声放送として、セント・ギガ〔衛星デジタル音楽放送(株)〕が放送されています。(2001年4月現在) セント・ギガを聴くにはWOWOWとは別に受信契約が必要です。有料の独立音声放送は、信号がスクランブル化されていますので、そのままでは受信できません。選んでも無音となります。

衛星放送の音声方式について

「Aモード」と「Bモード」の2種類があります。

Aモード

- FM放送なみの音声が楽しめます。
- テレビの画面に関連した「テレビ音声」と、テレビ画面とまったく関係ない「独立した音声」が送られてきます。

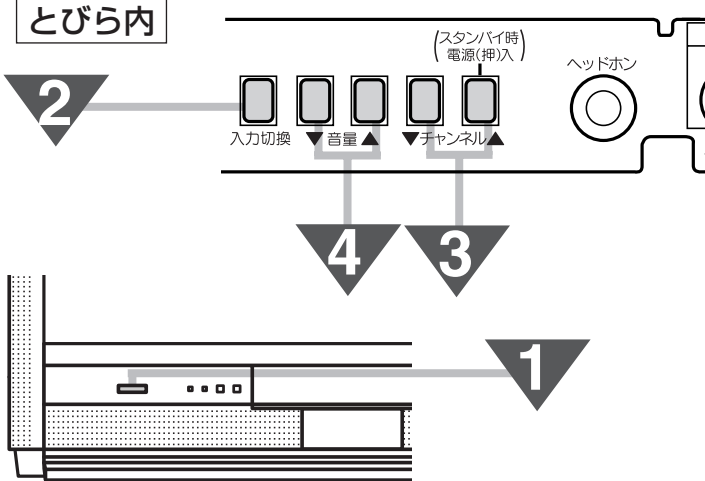
Bモード

- コンパクトディスクなみの高品位の音声が楽しめます。
- 「テレビ音声」のみが送られてきます。

本体で操作したいとき

お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。

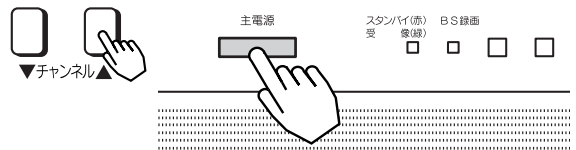
とびら内



1 電源を入れる

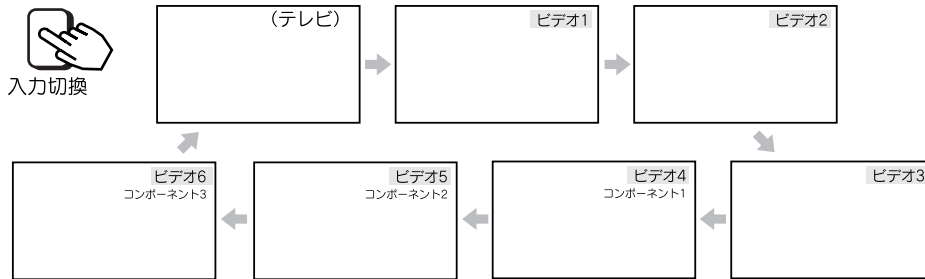
スタンバイ/受像ランプが赤く点灯している場合はチャンネル▲ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。電源を切るときは、もう一度主電源ボタンを押します。

スタンバイ/受像ランプが緑に点灯しているときに主電源ボタンを切にした場合、次に主電源ボタンを入にすると、電源が入りスタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。



2 入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。(お買い上げ時)

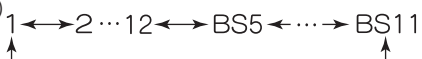


メモ

ビデオ入力のスキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し(スキップ)させることができます。 **59**

3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。(お買い上げ時)



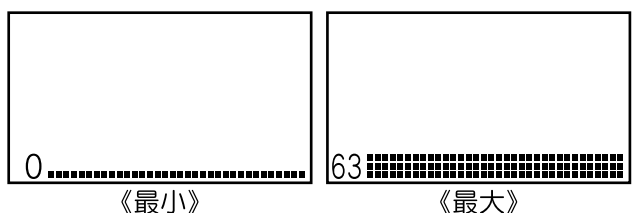
メモ

空きチャンネルの飛び越し選局**104**の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。



4 音量を調節する

音量の大きさが数字と で画面に表示されます。



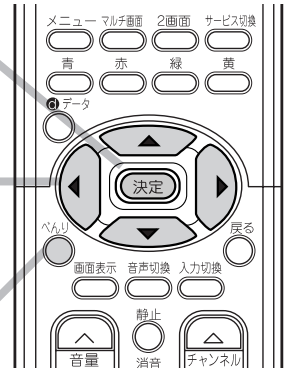
映像・音声の 設定

映像の自動調整モードを選びたいとき	40
映像設定をしたいとき	41
さらにお好みの映像設定をしたいとき	42
音声設定をしたいとき	43
さらにお好みの音声設定をしたいとき	44

映像の自動調整 モードを 選びたいとき

設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、
「ナチュラル」、「クリエイト」の3つからお好みの
映像を選ぶことができます。

映像モードの選びかた



1

べりりボタンを押す



メモ

映像モードは、メニューの「映像設定」画面で選ぶこともできます。 41

2

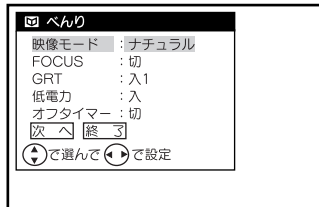
で「映像モード」を選び、でお好みのモードに設定する



モードは下図のように切り換わります。



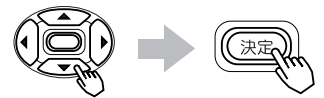
スーパー ↔ ナチュラル ↔ クリエイト



3

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べりりボタンを2回押して表示画面を消すこともできます。



各機能について

スーパー

- 鮮明でコントラストのある画像に調整します。
- 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

クリエイト

- 黒補正、VM、LTI、CTIなど、お好みに合わせてより細かな設定ができます。 42
- お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。

ナチュラル

- 周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールします。(周囲の明るさは、ディマーアイ受光窓 15で検出します。ディマーアイ受光窓をふさいでしまうと適度にコントロールできなくなります。)
- 通常のテレビ番組、ビデオカメラの再生などを楽しむときに適したモードです。(省エネルギーにも対応したモードです。)

メモ

各モードについて

各モードについて、明るさ(ナチュラルを除く)、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。 41

映像設定をしたいとき

映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

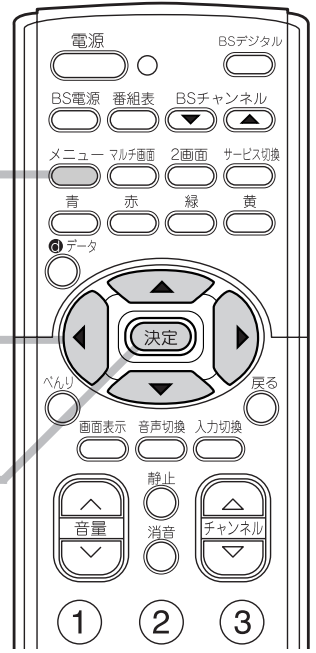
明るさ、黒レベルなどの設定

1 メニューボタンを押す

2 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で設定したい項目を選び、 で調節する

映像設定項目			設定のポイント
映像モード	スーパー ↔ ナチュラル ↔ クリエイト		設置場所や映像ソースに合わせて設定します。映像モードの設定は、べんりボタンでも設定することができます。 40
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく（表示が「明るさー」となって設定できないときは お知らせ を参照ください）。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌がきれいに見えるように
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ
色温度	オート ↔ 高 ↔ 中 ↔ 低		「オート」は入力モードに応じて色温度が切り換ります。室内照明などによる影響から色調を補正するときは「高」「中」「低」のいずれかに設定します。
標準	—	—	工場で設定した標準レベルに戻ります。



メモ 低電力モードについて
低電力：入時は明るさをおさえて消費電力を低減します。**35**

お知らせ
映像モードで「ナチュラル」を選んでいるときは、周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールするため、明るさの設定はできません。

4 で「終了」を選び、決定ボタンを押す

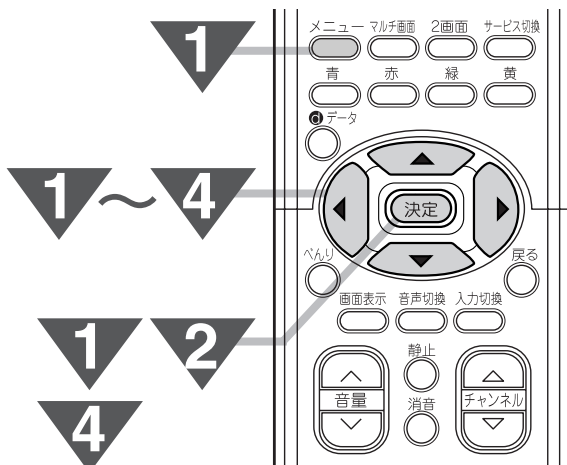
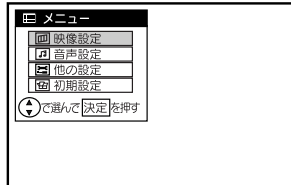
●設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

映像・音声の設定
●映像の自動調整モードを選びたいとき
●映像設定をしたいとき

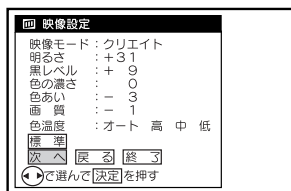
さらにお好みの
映像設定
をしたいとき

ビデオ入力画質、3次元Y/C、ライン補間、フィルムシアターの設定ができます。
また、映像モードで「クリエイト」を選んでいるときは、お好みに合わせて黒補正、VM、LTI、CTIの設定ができます。

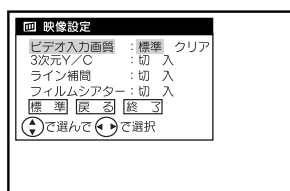
1
メニューボタンを押し、で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



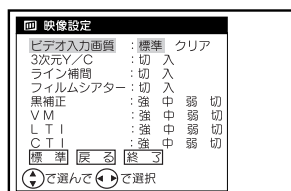
2
で「次へ」を選び、決定ボタンを押す



映像モード
スーパー、ナチュラルのとき




映像モード
クリエイトのとき



3
で設定したい項目を選び、で選択する

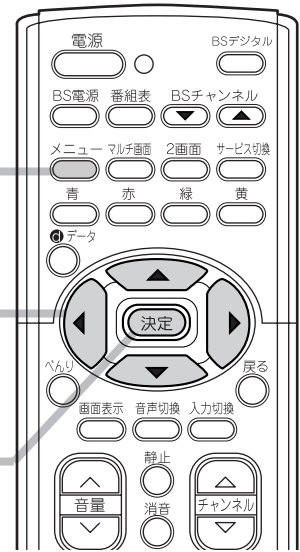
 映像設定項目		設定のポイント
ビデオ入力画質	標準 ↔ クリア	ビデオなどの映像がガラツイているなど不自然に見える場合は「クリア」にします。通常は「標準」でご使用ください。
3次元Y/C	切 ↔ 入	ビデオなどの映像が自然に見えないときは、「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
ライン補間	切 ↔ 入	「入」: 立体ビデオディスクをご使用の場合に設定します。一度電源を切ると「切」になります。 「切」: 通常
フィルムシアター	切 ↔ 入	「入」: 映画フィルム素材を自動的に検知して元のフィルム映像に忠実に再現します。通常は「入」でご使用ください。 「切」: ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。
黒補正	強 ↔ 中 ↔ 弱 ↔ 切	黒レベル補正を調整できます。
VM	強 ↔ 中 ↔ 弱 ↔ 切	輪郭強調を調整できます。
LTI	強 ↔ 中 ↔ 弱 ↔ 切	輝度信号の鮮鋭度を調整できます。
CTI	強 ↔ 中 ↔ 弱 ↔ 切	色信号の鮮鋭度を調整できます。
標準	—————	工場で設定した標準設定に戻ります。

4
で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メモ
ビデオ入力画質について
●ビデオ1からビデオ6までの各入力モードごとに設定できます。
●TVチャンネル、BSチャンネルをご覧になっているときは設定できません。

音声設定をしたいとき

お好みに合わせて高音、低音、バランスの設定ができます。



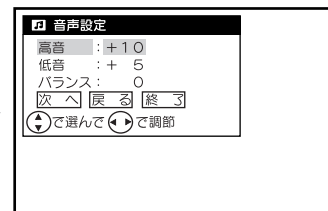
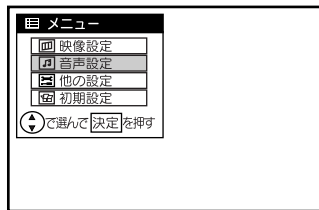
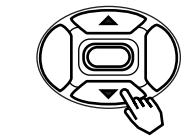
1

メニューボタンを押す



2

で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す



3

で設定したい項目を選び、で調節する

設定のポイント

高音、低音、バランスはそれぞれ-10~+10までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。

音声設定項目		
高音	高音がおさえられる	高音が強調される
低音	低音がおさえられる	低音が強調される
バランス	左スピーカーの音が強調される(-)	右スピーカーの音が強調される(+)

4

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

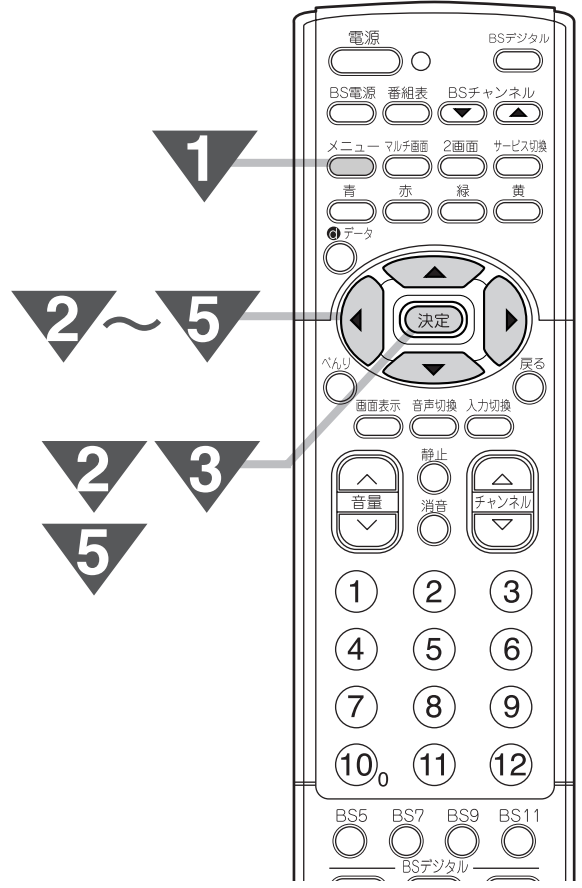


さらにお好みの
音声設定
をしたいとき

FOCUSは、スピーカーの位置によらずに画像と音の位置を一致させる（音像の縦方向の移動）ことにより、より自然でリアルな音を楽しめるようにした技術です。また、サラウンド、ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）、ミュート音量（消音時の音量調節）、ヘッドホン音量などの設定ができます。

1

メニューボタンを押す



2

で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

メニュー
映像設定
音声設定
他の設定
初期設定

3

で「次へ」を選び、決定ボタンを押す

音声設定
高音 : +10
低音 : + 5
バランス : 0
次へ 戻る 終了

音声設定
FOCUS : 切 入
サラウンド : 切 入
ステレオミュート : 切 入
ミュート音量 : 0
ヘッドホン音量 : 20
戻る 終了



音声設定の効果

FOCUS：入

映像を上部に移動することにより、より自然でリアルな音を再生することができます。また、音の輪郭をはっきりさせることで、ニュースなどの話し声が更に聞き取りやすくなります。

サラウンド：入

臨場感のあるステレオサウンドを楽しむことができます。モノラル放送や、ステレオ放送であっても「モノラル」の設定にしているとき（**36**）は、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送時雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を一側にする（**43**）か、またはサラウンドを「切」にしてください。

ステレオミュート：入

ドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。

ミュート音量

消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を63段階に切り換えられます。ヘッドホンを差し込んででもスピーカーの音は消えません。スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

お知らせ

FOCUSとサラウンドは、べんり機能で設定することもできます。**46**

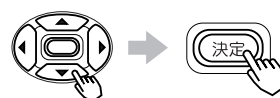
4

で設定したい項目を選び、 で選択、または調節する

音声設定項目		設定のポイント
FOCUS	切 ↔ 入	お買い上げ時は「入」になっています。FOCUS機能を使わないときは「切」にします。
サラウンド	切 ↔ 入	「入」にすると、臨場感のあるステレオサウンドを再生することができます。
ステレオミュート	切 ↔ 入	「入」にすると、コマーシャル音（ステレオ放送）などを小さくすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる ↔ 音量が大きくなる 最小 [0] 最大はミュート前の音量	消音ボタンを押したときの音量 32 が変わります。
ヘッドホン音量	音量が小さくなる ↔ 音量が大きくなる 最小 [0] 最大 [63]	好みの音量に合わせます。

5

で「終了」を選び、決定ボタンを押す



さらにお好みの
音声設定をしたい
とき (つづき)

FOCUSとサラウンドはべんり機能で設定することが出来ます。

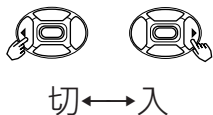
1

べんりボタンを押す



2

で「FOCUS」を選び、
でお好みの設定にする



切 ←→ 入

3

べんりボタンを押す

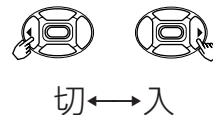
設定画面の2ページ目が表示されます。



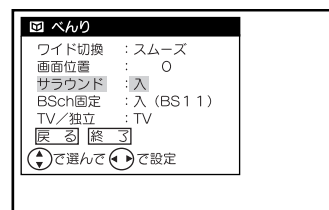
で「次へ」を選び、決定ボタンを押したときも設定画面の2ページ目が表示されます。

4

で「サラウンド」を選び、
でお好みの設定にする



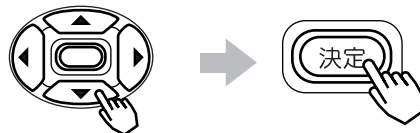
切 ←→ 入



5

で「終了」を選び、決定ボタンを押す

べんりボタンを押して表示画面を消すことも出来ます。



2 4

5

1 3

5

